令和6年(2024年)度年間授業計画表						
学年	3年	学科	全学科	必選	選択	
教科	国語	科目	国語表現	単位	3単位	
使用教材	国語表現 (大修館書店)					
学習目標	① 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ② 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。 ③ 基礎事項の繰り返し学習を重視し、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
単元と内容						
1学期	{言葉と出会う} ・言葉と表記 ・整った文を書く ・相手に応じた言葉遣い ・わかりやすい文を書く ・文のつながり方 {自己PRと面接} ・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・将来の自分を考えよう ・志望理由を書こう ・自己推薦書や学修計画書を書く・面接にチャレンジ		・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。			
	2学期	{メディアを駆使する} ・通信文を書き分ける ・電話を使いこなす ・電子メールを活用しよう ・メディアと情報 {会話・議論・発表} ・相手や場面に応じた会話 ・スピーチをしよう {小論文・レポート入門} ・小論文とは何か ・文章を読み取って書く ・発想を広げて書く ・レポートを書く		・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。 ・情報が編集されていることを理解する。 ・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・発想を広げるための方法を理解する。		
		3学期	{表現を楽しむ} ・日常生活の正しい過ごし方 ・「わが町自慢」のパンフレット作り ・エッセイを書こう		・読者を意識して、物事の手順をわかりやすく書いて伝える。 ・接続表現や順序を表す言葉などを効果的に用いる。 ・読者を意識し、ほかのエッセイを参考にしながら、構成、文体、表現などを意識してエッセイを書く。	
評 価						
評価の観点			評価の趣旨			
I	知識・技能	・表記の決まりを意識し、正しく書く。・漢字や慣用表現を正しく使う。・説得力のある主張をするために、必要な情報を集めたり、構成や説明資料を工夫したりする。				
II	思考・判断・表現	・文脈による文のつながりを理解する。・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすくする。相手に応じた適切な言葉遣いや応答のしかたを理解する。				
III	主体的に学習に取り組む態度	・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。				
評価方法	観点 I		観点 II		年間時数	
	・観察 ・ワークシート ・評価テスト		・観察 ・ワークシート ・評価テスト		予定	
					105 時間	
					実施	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献				